

おわりに

高郷村は、これまで述べてきたように、地層の重なる様子が見られる、見事な露頭があり、さらにいろいろな化石を産出する所です。特に海の哺乳動物化石の宝庫といえます。

郷土の自然のおいたちを学ぶのにたいへんふさわしい場所で、実際の地層・化石を目の前にして学べるところにそのすばらしさがあります。その上、村には郷土資料館があり、村から産出した岩石が展示してあります。ですから体系だった地学の勉強の場となっています。このすばらしい高郷の自然、特に地層や化石をいつまでも大切に、だれもが学べる自然の学校にしたいものです。

最後になりましたが、この本を刊行するにあたり多くの方々から協力をいただきました。特に、高郷村、宮城県牡鹿町、同鯨博物館、築地書館、福島県立博物館、ふくしま野尻湖友の会、八島隆一氏（元福島大学教授）、マリン・マンマルグループ、福島映像企画の方々から、資料の提供やご助言をいただきました。また桑野幸夫氏に有孔虫について、ご指導をいただきました。資料館をつくるときにも、たくさんの方がたにお世話をいただきました。以上の方がたに厚くお礼申し上げます。

参考にした本

- 会津化石研究グループ 1984、 高郷の地質と化石
Domning, D. P. 1978 SIRENIAN EVOLUTION IN THE NORTH PACIFIC OCEAN University of California Press
福田芳生 1989 化石探検 Part 1 同文書院
福島県立若松女子高校地学班 1975 塩坪層産のクジラ化石
古沢 仁 1989 タキカワカイギュウの研究 滝川市美術自然史館
神谷敏郎 1989 人魚の博物誌 思索社
木村方一 1992 日本産鯨化石の層序と生息環境 地質学論集 37
吉良哲明 1973 原色日本貝類図鑑 保育社
Kobayashi, S., Horikawa, H., Miyazaki, S. 1995 A new species of Sirenia (MAMMALIA: HYDRODAMALIA) from the shiotubo Formation in Takasato, Aizu, Fukushima Prefecture, Japan Journal of Vertebrate Paleontology
小林昭二 1994 福島県高郷・塩坪層（上部中新統）産の海牛目化石と